

バス交通の歴史的変遷の GIS データ化：
浜松北部地域バス路線を事例として
(研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 元気 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027477

バス交通の歴史的変遷の GIS データ化 -浜松北部地域バス路線を事例として-

小林 元気(情報学専攻)

近年 GIS (Geographic Information System)の普及により, 多種多様な空間情報データ (GIS データ) が入手できるようになった. 身近な交通手段である路線バス網の検討を試みる場合, 現存するバス路線網の情報については公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通データ形式である GTFS (General Transit Feed Specification) に基づいたデータが公開されていることも多い. しかしながら, 過去に存在した路線網を表現した GIS データはほとんど存在せず, 過去に遡った分析を行う上で基礎的な資料に乏しい現状にある. 本報告では, 昭和 40 年および昭和 45 年に国鉄バス遠江二俣自動車営業所より発行された国鉄バス天竜線の時刻表掲載情報から過去に存在したバスルートの GIS データ化を試み, 空間的分析を行う上で有用なラインデータおよびその属性値を定義するにあたり考慮すべき点を明らかにする.